

入試年度	2026年度	入試時期	I期入学試験	実施日	2025年 9月12日(金)
課程	博士前期課程	研究科	政治経済学研究科	専攻・コース	政治学専攻(研究者コース、高度職業人コース)
入試方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目	

「出題の意図」

政治学・社会学に関する専門的な知識を問うとともに、論理的な思考力と適切な文章表現を評価する。国際政治学、政治思想、政治理論、産業社会学、家族社会学、社会学理論等の分野に多様な関心をもつ受験者を想定し、各自の関心に応じた具体的な題材を選択して論述できるよう配慮する。

「解答」または「解答例」

【解答例(採点時の観点)】

4-1

- ・1945年以降、どの国がどのタイミングで核保有を果たしたのかについて正確な知識を有しているか。
- ・西側において、一国の核戦略だけでなく、NATOの核戦略が全体の核戦略に大きな影響を与えたことを理解しているかどうか、大量報復戦略や柔軟反応戦略といった核戦略の内容と推移について正確に理解し、それを適切に説明できているか。
- ・敵対する相互の陣営の核保有が、核抑止に基づく核戦略を必要としたことを正確に把握しているか。
- ・1968年に成立する核不拡散条約体制(NPT体制)の成立過程、成立交渉上の論点、成立後のNPT体制の要点について、正確な知識を有し、それらを適切に説明できているか。
- ・以上の観点について、正確な情報や知識に基づき、論理的に自身の考えを文章にまとめられているか。

4-2

- ・政治学・政治思想上の「暴力論」について、その内容や背景に関する知識を有しているか。
- ・権力と暴力の違い、「構造的暴力」、権威主義体制や全体主義体制などの国家による暴力、及び、民衆暴力も含めたテロリズムについて、政治学的に論じているか。
- ・以上の観点について、正確な情報や知識に基づき、論理的に自身の考えを文章にまとめられているか。

4-3

- ・スポイルズ・システム及びアメリカ大統領制に関する正確な知識を有しているか。
- ・スポイルズ・システムの特徴について正確に把握しているか。
- ・また、それらの特徴を、現代政治における一般的規範や基本的価値と照らし合わせて長所と課題に分類することができているか。
- ・以上の諸点について適切かつ論理的に説明することができているか。

4-4

- ・少子化要因の中でも、「働き方や仕事」に関わると考えられる要因について正確な知識を有しているか。
- ・「働き方や仕事」に関する要因がなぜ少子化を引き起こすと考えられるのか、産業社会学、家族社会学、ジェンダー研究等の研究知見を用いながら論理的に説明することができているか。
- ・以上の諸点について、現代社会の働き方や仕事、育児をめぐる状況を踏まえて適切に説明することができているか。

4-5

- ・「夫婦家族制」「直系家族制」「合同家族制」に関する正確な知識を有しているか。
- ・3つの家族制度の特徴を具体例にもとづき記述することができているか。
- ・以上について、「家族」「世帯」「制度」の概念を適切に区別しながら、明確かつ論理的に説明することができているか。

4-6

- ・社会学理論における機能主義に関する正確な知識を有しているか。
- ・機能主義の分類とそれぞれの特徴について正確に把握しているか。
- ・また、それらの分類と特徴を、現代社会における具体例をあげながら説明する力を有しているか。
- ・以上の諸点について適切かつ論理的に説明することができているか。

合否判定の方法及び基準

入学試験は政治経済学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。